

修身小學

卷八

乙 65
484

大日本教育會館
一九一七
函架號冊

K

吉田利行編輯

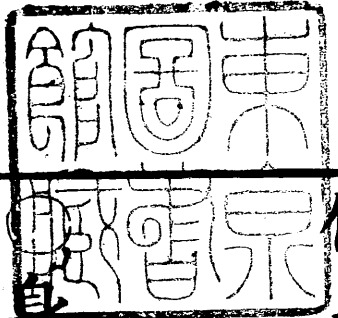
版權

所有

修身小學

星文館藏版

明治十八年十月十四日內務省發行



修身小學卷之八



吉田利行編

身體髮膚之ヲ父母ニ受ク。敢テ
毀ヒ傷ラザルハ。孝ノ始メナリ。身
ヲ立テ。道ヲ行ヒ。名ヲ後世ニ揚ゲ
テ。以テ父母ヲ顯スハ。孝ノ終ハリ

修身小學卷之八 第一齋

ナリ。孝經

○孝子ノ深愛アル者ハ。必ズ和氣アリ。和氣アル者ハ。必ズ愉色アリ。愉色アル者ハ。必ズ婉容アリ。同上

○孝行ノ條目。數多アリト雖モ。畢竟ハ。二箇條ニ約マレリ。第一ニハ。父母ノ心ヲ安穩ナル様ニスルナ

リ。第二ニハ。父母ノ身ヲ能ク敬ヒ養フナリ。翁問答

○父母ノ心ノ安樂ナルヤウニハ。先ツ我が身ヲ修メ。心ヲ正シクシテ。好キ人トナリ。夫レ々ノ生業ノ所作ヲ善ク勤メ。財用ヲ節スレバ。父母ノ心ニ於テ。子ノ禍ニ逢ヒ。貧

窮ニ及ブベキ恐レナシ。同上

○妻子ヲ善ク教化シ。家内ノ人。皆聲ヲ和ゲ。氣ヲ降シテ。父母ヲ愛敬シ。假リ初メノ下知モ。背キ怠ラズ。兄弟一族和睦スルヤウニスレバ。父母ノ目ニ觸レ。耳ニ入ル。皆父母ノ心ニ叶ヒテ。自ラ父母安樂ニ

ナルモノナリ。同上

○我善事アレバ。親ヲ稱シテ。我が善ニ非ザルヲ云ヒ。父過チアレバ。己が過チヲ云ヒテ。親ノ過チヲ顯スベカラズ。日新館童子訓

○若シ父母ノ身ニ過チアラバ。子タル者。我が顔ヲ悦バシメ。聲ヲ和

ケ。言ヲ緩ヤカニシテ。徐ヤク諫ム
ベシ。初學訓

○父母。諫ヲ用ヒズシテ。却テ怒
ラバ。諫ヲ先ツ止ムベシ。父母ノ
心ニ。乖クベカラズ。時過ギテ。父母
ノ氣色好キ時。又諫ムベシ。厲ゲシ
ク諫メテ。父母ノ心ニ。逆ラフベカ

ラズ。同上

○月日ハ。移リ易クシテ。親ノ命ハ。
限り有ルモノナレバ。孝行ノ志ア
ラン子ハ。今日ノ過ギ易クシテ。親
ニ事フルノ日ノ。少ナクナルトヲ
思ヒ。日ヲ愛シム可シ。大和小學

○凡ソ孝ノ道ハ。父母存生ノ間。能

ク事フルノミナラズ。父母死シテ
後終ハリヲ慎ミ。葬リヲ厚クシ。遠
キヲ追ヒテ。時節ノ祭リ。怠ル可カ
ラズ。初學訓

第二章

○萬國ノ中ニ。惟神州ノミハ。天地
関闢セシヨリ以來。天日嗣無窮ニ

傳ヘテ。一姓綿々トシテ。庶民ノ天
ト仰ギ奉ル所。皇統變ハラセ給
ハズ。今此萬民。天地ノ間ニ。雙ビナ
キ。貴キ國ニ。生マレナガラ。吾ガ國
體ヲ知ラザルベケンヤ。 地彙篇
○今日食フ所ノ米穀ハ。即チ日神
ノ種エサセ給ヒシ。嘉穀ノ繁行セ

五

シナリ。衣ル所ノ服ハ。即チ神代ニ
始マリシ。絁織ノ業ノ廣マリシナ
リ。其他ノ家屋。器財。百物アリテ。日
用トナルモノ。皆神代ヨリ。歷朝ノ
拮据經營ニ因リテ。生ズルモノニ
非ザルハナシ。今此ノ日神ヨリ賜
ハリシ。穀ヲ食ヒ。日用ニ事欠クル

一ナクシテ。世ニ在リナガラ。其大
徳ニ。報イ奉ラザルベケンヤ。同上
○一介ノ士モ。知己ニ遇フ一ヲ得
レバ。恩ニ感ジ。報ゼン一ヲ思ヒ。尚
ホ且ツ軀ヲ捐ツ。而ルヲ况ヤ。君臣
ノ大義ヲヤ。故ニ君ニ事ヘテ。身ヲ
致スハ。臣道ノ當然ナリ。習是篇

○臣子ハ。身ヲ委シテ。主ニ事フ。凡
ソ宗社ノ安危。國家ノ利病。生民ノ
休戚。吾ト君ト。一ニ是痛癢相關セ
ザルハナシ。故ニ君ニ忠ナレバ。自
然ニ國ヲ愛ス。國ヲ愛スレバ。即チ
是君ニ忠ナリ。初メヨリ兩事ニ非
ザルナリ。慎思錄

○古語ニ。臣ノ不忠ハ。君ヲ謗ルヨ
リ。大ナルハ莫シト云ヘリ。假令君
ニ。僻事アリ。臣タル者ハ。隱シテ
語ル可カラズ。大和俗訓
○又我が身。其位ニ居ラズンバ。國
政ノ是非ヲ。評議スベカラズ。下ト
シテ。上ヲ謗ルハ。不忠不敬ナリ。慎

ム可シ。同上

第三章

○凡ッ家ノ主トシテ。家ヲ治ムル
人ハ。先ヅ父母ニ能ク事フルヲ。第
一ノ務メトス。次ギニ。妻ヲ導キ。子
弟ヲ教フルヲ以テ。要トシ。其次ギ
ニ。下部ヲ使フニ。心ヲ用ヒテ。禮法

ヲ正シクスベシ。家道訓

○父母ヲ愛敬スルヲ。本トシテ。兄
弟。夫婦。親戚。下人ニ對スルモ。皆然
ルベシ。各々其人ノ品ニ因リテ。愛
敬スベシ。疎ケレドモ。疎ソカニス
可カラズ。是愛ナリ。賤シケレドモ。
侮ラズ。是敬ナリ。同上

○兄弟ニ睦マシク。夫婦和シテ。別
アリ。妻ヲ導クニ。禮ヲ以テシ。子弟
ヲ教ヘ戒メテ。愛ヲ過ゴサズ。彼是
ニツキテ。愛憎ノ私ナク。子弟ヲ導
キ。禮ヲ務メ。書ヲ讀ミ。藝ヲ習フニ。
怠リ無カラシムベシ。同上

○主人ハ。一家ノ模範ナリ。我能ク

勤メバ。衆何ゾ敢テ惰ラン。我能ク
儉ナラバ。衆何ゾ敢テ奢ラン。我能
ク公ナラバ。衆何ゾ敢テ私セン。我
能ク誠チラバ。衆何ゾ敢テ偽ラン。

頌體集

○家ヲ治ムルニ。忍ノ字ヲ用フベ
シ。忍トハ。恠ヘルナリ。堪忍スルヲ

云フ。凡ソノ人。君子ニアラザレバ。我が心ニ。叶ハザルコト多シ。堪忍セザレバ。人ノ交リハ。和ガズ。家道訓
○家ノ内。妻子家人ノ。我ニ事フル勤メ。十分ニ。我カ心ニ合ハザルトテ。責メ怒ル可カラズ。人ニ交ハルニハ。恕ヲ以テ。人ノ非ヲ宥スベシ。

大和俗訓

○我が心ニ。近ク取りテ。譬へ較ラアレバ。人ノ心モ。同シ心ナレバ。我が心ニ違ハズ。我が心ヲ以テ。人ノ心ヲ推シ量リテ。人ニ施スハ。則チ恕ナリ。五常訓
○子弟ノ輩。不肖ニシテ。不孝不弟

十

ナリト雖モ。其頑ナルヲ。念疾スル
一勿レ。須ラク從容トシテ。時ニ之
ヲ教諭スベシ。迫切ニ。譴責スベカ
ラズ。此クノ如クスル片ハ。父子兄
弟。其恩ヲ傷ナハズ。慎思録

○然ルニ父兄ハ。子弟ノ我ニ事ヘ
ヤウ足ラズシテ。心ニ叶ハザレバ。

子弟ヲ責メ。子弟ハ。父兄ノ惠ミ薄
クシテ。慚タラザレバ。父兄ヲ怨ミ。
其餘。夫婦親戚モ。亦然リ。互ニ堪忍
セザレバ。怒リ怨ミ出來テ。父子兄
弟。夫婦親戚ノ間。睦マシカラズ。家道

訓
○骨肉ノ歡ヲ失フハ。至微ニ本ツ

十一

キ。終ニ解クベカラザルニ至ル者
アリ。是レ歡ヲ失フノ後。各々自ラ
氣ヲ負ヒ。肯テ先ヅ。氣ヲ下ダサ
ルニ由ルノミ。朝夕群居。相失フ
無キ能ハズ。相失フノ後。一人能ク
先ヅ。氣ヲ下ダシ。之ト話言スル
アレバ。彼此應答。遂ニ平時ノ如シ。

表氏世範

○凡ソ人家ノ子弟。及ビ婦女。好シ
テ言語ヲ傳遞スレバ。必ず忿争ヲ
生ズ。人ノ事ヲ作ス。皆是ナル。一能
ハズ。皆他人ノ意ニ。合フ一能ハズ。
寧ンゾ其背後ノ評議ヲ。免レンヤ。
背後ノ言。人傳遞セザレバ。彼レ聞

キ知ラズ。寧ンゾ忿争スルヲアラ
ンヤ同上

○子弟ハ。言フニ及バズ。下部ニ對
ス。其罪アルヲ怒リ。惡言ヲ出ダ
シテ。賤シム可カラズ。又扨チ敲キ
辱シメテ。犬馬ノ如ク。賤シムベカ
ラズ。下部モ亦人ノ子ナリ。人倫ノ

交ハリ。斯クノ如ク。情ナカルベカ
ラズ。家道訓

○子弟及ビ奴僕ニ對シテ。其過チ
ヲ正サバ。教ヘヲ本トスベシ。怒リ
ヲ先立ツベカラズ。斯クノ如クナ
レバ。子弟奴僕ノ心ヲ得テ。恨ミナ
ク。從ヒ易スシ。是子弟奴僕ヲ戒ム

家道訓
十一
三

ルノ要法ナリ。大和俗訓

○祖父遺ス所ノ老僕多ク世故ヲ
閱歴シ。事情ヲ諳練シ。能ク幼主ノ
為メニ。カヲ出ダス者アリ。宜ク之
ヲ厚待スベシ。疾病アラバ。尤モ體
恤スベシ。其耆老ニ因リテ。厭惡ヲ
生ズベカラズ。易知編

○家ノ榮エ衰ヘハ。家法ノ正シク
ナルヲ。榮エトシ。家法ノ廢タルヲ。
衰フトス。富貴ナリトテ。榮エトス
ベカラズ。貧賤ナリトテ。衰フトス
ベカラズ。家ノ盛衰ハ。禮義ノ行ハ
ル。ト。行ハレザルトニ由レリ。是
古人ノ云ヘル意ナリ。今ノ世ノ人

十四

モ。亦斯クノ如ク。心得ベシ。家道訓

第四章

○人ニ交ハルニ。贈リ物ヲ以テス
ルハ。何ゾヤ。是心ノ愛敬ヲ。外ニ顯
シ行フ禮ナリ。贈リ物ヲ用ヒザレ
バ。心ニ在ル。愛敬ノ誠ヲ。外ニ顯ス
可キヤウナシ。贈リ物ヲ用フルハ。

此故ナリ。大和俗訓

○古ヘ神ニ事フルニ。蕨藻ノ薦ノ
物アリ。是潔キ水草ヲ以テ。神ニ供
フルナリ。初メテ師ニ見ユルニ。束
脩ノ禮アリ。神ニ事ヘ。人ニ交ハル
ニ。斯クノ如クナラザレバ。其誠顯
レズ。同上

○父母兄弟親戚朋友或ハ恩ヲ受ケシ人ニハ贈り物ヲ以テ其誠ヲ顯シ情ヲ通ズ可シ。古人貧シキハ束脩ヲ送り富メルハ玉帛ヲ送ル。吝カナル人ハ財ヲ惜シミテ禮ナシ。送ル可キ人ニ送ラズ。是不仁ニシテ誠ナキニ因レリ。家道訓

○我が身ニ奉ズル一ハ薄クシテ。禮義ヲ行フ一ヲ厚クスル。是用財ノ良法ナリ。今ノ人ハ我が身ニ奉ズルニ奢リ。人ニ禮義ヲ行フニ薄クス。是用財ノ道ヲ失ヘリ。同上

第五章

○凡ソ都鄙ヲ論ゼズ。同シ鄉村ニ。

住居スル人ハ。先祖已來。常ニ往キ
通ヒ。互ニ久シク。馴レ染メヌレバ。
其筋目。最モ忘ル可カラズ。六論行
義大意
○他國ニ在リテ。我が故郷ノ人ニ
逢ハバ。イト懐ツカシク。親族ノ思
ヒヲ爲ス可シ。是ニテ。同ジ鄉村ノ
人ハ。常ニ疎略ニス可カラザル

ヲ知ルベシ。同上

○偕相交ハルノ道ヲ言ハバ。常ニ
歡ビ吊ヒヲ陳ベ。病ミ煩ヒヲ問ヒ。
禮義ヲ盡クシ。眞實ノ志ヲ致ス可
シ。水火盜賊。不慮ノ難アラバ。互ニ
合カシテ。隨分救ヒ助ク可シ。同上
○行狀ノ惡シキ人ヲバ。幾度モ。懇

ニ諫ム可シ。賢徳アル人ヲバ。敬ヒ。
學問アル人ヲバ。親シミ。材藝アル
人ヲバ。譽々顯シ。無能ナル人ヲバ。
教へ誘キ。争ヒニ及ブ者ヲバ。取り
扱ヒ。愁へニ沈ム人ヲバ。問ヒ慰メ。
孤兒寡婦。老病支離ナル人ヲバ。傷
ミ憐ミ。困窮無力ノ人ヲバ。賑シ濟

フベシ。然ラバ一郷ノ人。思ヒ合ヒ
テ。一家ノ親シミニ。同ジカラシ。争
デ和睦セザルナアルベキ。同上
○如何ナレバ。今ノ世ノ人。一旦ノ
怒リ。又ハ僅ノ愆ニ因リテ。日比ノ
好シミヲ。忘ルニヤ。最モ歎カハ
シキナリ。或ハ。田宅ノ界ヲ争ヒ。

金銀ノ債ヲ促リテ。雙方怒リヲ起
コシ。遂ニハ。公事訴訟ニモ及ブ程
ニ。一郷ノ騷キ凡ナルゾカシ。同上
○親族隣里ハ。居處甚ダ近シ。凡ソ
養畜ノ侵害スル。僮僕ノ争競スル。
言語行事ノ錯誤スル。勢ヒ免ル、
一能ハズ。但己ニ反省シ。人ヲ責ム

ル一ナケレバ。能ク交ハリヲ。久シ
クスベシ。若シ遽ニ嗔怒ヲ生ジ。彼
此俱ニ相下ダラザルハ。仇怨終
ニ了ル時ナシ。習是編

○凡ソ。争ヒ訟ヘテ。人ヲ咎ニ陥ル
、モ。快カラズ。其上。我ニ十分。理ア
リト思ヘド。又彼ニ。理アル一アリ。

修身小學
我ノミ。理アリト思フ可カラズ。我
が身ニハ。私アル故。非ヲモ理ト。思
ヒ誤ル一アリ。一偏ニ思フ可カラ
ズ。家道訓

○我厚キヲ以テ人ヲ待チ。人薄キ
ヲ以テ我ヲ待ツハ。彼薄キニ非ズ。
我が厚キノ至ラザルナリ。我禮ヲ

以テ人ニ接シ。人虐ヲ以テ我ニ加
フルハ。彼虐ナルニ非ズ。我が禮ノ
至ラザルナリ。厚キト禮トハ。我ヨ
リ之ヲ行ヒ。薄キト虐トハ。我ヨリ
之ヲ招ク。彼何ノ罪アラシヤ。是故
ニ。天ヲ怨ミズ。人ヲ尤メズ。君子タ
ルニ庶幾カラシ。筆時

修身小學卷之八終

明治十八年七月廿二日版權免許
同 年九月五日製本換御届
同 年同月 刺成

定價金七錢五厘

編輯人

出版人

福岡縣士族

吉田利行

福岡縣福岡區福岡西職人町六拾九番地

林 斧 次

同縣同區福岡箕子町百五番地

高田芳太郎

同縣同區博多麴屋町十一番地

長濱竹次郎

同縣同區福岡下名崎町五十七番地

同

同平氏

右田喜九郎

同縣同區博多掛町十一番地

修身小學

卷九

65
484

大日本教育會館

一	一	一	一
册	七	架	九
	號		函

K